

栃木県の幼児教育と小学校教育をつなぐジョイントカリキュラム

つなげよう!

とちぎのこどものまなび



令和3（2021）年度幼小連携推進者養成研修まとめ

この資料は

- ✧ 入学を境にした時期に、子どもの学びや育ちがどのようにつながっていくのかを、多様な側面(テーマ)から捉え、まとめたものです。
- ✧ テーマごとに、幼児期後期から小学校入学当初にかけて大切にしたいことを、「子どもの姿」「保育者や教師が大切にすること」「大切な経験や活動」の3つの視点で示しました。
- ✧ 各園・各校でアプローチカリキュラムやスタートカリキュラムを見直す際の参考にしてください。



令和3（2021）年度 受講者及びジョイントカリキュラムテーマ

学校名	氏 名	テーマ	園名	氏 名	テーマ
宇都宮市立白沢小学校	郷 間 真 弓	思いや考えを 伝え合う	栃木市立西方小学校	飯 塚 裕 理	思いや考えを 伝え合う
岡 本 幼 稚 園	手 塚 み な み		認定こども園ひらかわ幼稚園	関 口 立 美	
宇都宮市立五代小学校	佐 藤 沙 織	自信をもって 表現する	栃木市立大平南小学校	館 野 裕 美 子	思いや考えを 伝え合う
認定すずめこども園	猪 瀬 紗 世		さくら第2保育園	荒 川 容 子	
宇都宮市立田原西小学校	倉 田 祥 子	自分で考え 判断する	下野市立国分寺小学校	佐々木 葉 子	自分で考え 判断する
ゆりかごきっずな一さりすくーる	廣 瀬 瞳		認定こども園愛泉幼稚園	矢 内 淳 子	
宇都宮市立上河内東小学校	吉 新 花 子	自信をもって 表現する	塩谷町立大宮小学校	竹 川 瑞 希	思いや考えを 伝え合う
ゆずのこ保育園	高 橋 真 由 美		おおみや保育園	堀 金 咲 夢	
日光市立鬼怒川小学校	紺 野 香 奈	自分で考え 判断する	那珂川町立馬頭小学校	大 野 愛	最後まで やり遂げる
清 流 保 育 園	吉 村 比 奈 子		那珂川町立わかあゆ認定こども園	高 野 路 康	
鹿沼市立板荷小学校	福 田 彩 乃	安心して気持ちや 思いを伝え合う	大田原市立市野沢小学校	宮 崎 映 子	考える力を育てる
茂 呂 保 育 園	設 楽 享 子		かねだ保育園	角 田 夢 元	
鹿沼市立南摩小学校	安 生 隆 子	自信をもって 表現する	那須町立田代友愛小学校	飛 田 美 紗	自分で考え 行動する
晃 望 台 幼 稚 園	戸 室 ま ち 子		大 同 保 育 園	遅 沢 俊	
真岡市立真岡東小学校	荒 井 香 澄	思いや考えを 伝え合う	那須塩原市立東原小学校	渡 辺 恵 理 子	自己肯定感を 育てる
物 部 保 育 所	中 山 李		わかば保育園	高 久 未 穂	
茂木町立須藤小学校	小 森 さ と み	友達と協力して 生活する	佐野市立城北小学校	阿 部 綾 香	思いや考えを 伝え合う
須 藤 保 育 園	高 林 道 代		認定こども園呑竜幼稚園	大 島 絵 理 子	
小山市立東城南小学校	福 田 舞	友達と協力して 生活する	足利市立三重小学校	一 木 一 世	主体性
認定こども園静林幼稚園	石 井 聖 恵		三 重 保 育 所	中 山 香 理	

第1班 テーマ：自分の思いや考えを伝え合う。

幼児期・年長後半
入学
一年生・入学当初

(学びの芽生え)

(自覚的な学び)

子どもの姿

なんて言ったら
よいのかなあ。

一緒に言ってみよう。
まねしてみよう。

思いが伝わった。
うれしい!

もっと伝えたい!

友達と関わって
楽しい。

共感・達成感・自信

【保育者・教師が大切にすること】

【大切な経験や活動】

- 一人ひとりの思いや考えを大切にすること。
- 伝え方が分からない子には、先生が具体的なアドバイスをしたり、一緒に言い方を考えたりする。
- 違う思いや考えに気付き、認め合えるように伝え合う活動を多く行う。
- 場や方法を工夫する。(幼児が思いを表現できるような環境を整える。)
- 安心して自分の思いや考えを伝えられるようなクラスの雰囲気作り
- 語彙を増やしたり、活動をスムーズにするための本の読み聞かせ
- 伝わった時や発表した時の喜び、達成感を共感し合う。



- 自分と違う考えや思いに触れたり、そのよさに気付いたりすることに、楽しさを感じることができると雰囲気作り(環境作り)
- 対話をする学習活動を多く行う。
- 相手の話になぜいたり、質問したりするなど聞く態度やスキルを育てる。
- 聞く態度がよい児童を称賛するようにする。
- 多くの友達と大いに関わる機会を設ける。
- 語彙を増やすための掲示物の工夫。
- 語彙を増やすための読み聞かせや読書の奨励
- 各教科での報告会や発表会



- ・当番活動(当番さんヘインタビュー)
- ・ルールのある遊び
- ・集団遊び
- ・ケンカ(互いの思いを伝え合う)
- ・チューリップの栽培
- ・落ち葉掃除
- ・一人一つお仕事(小学校当番活動)
- ・係活動
- ・グループ学習やペア学習
- ・朝の会のスピーチ
- ・お疲れ様会やクリスマスパーティー・お正月パーティー
- ・アサガオの栽培
- ・虫とり
- ・秋見つけ、秋ランド
- ・クラス遊び
- ・作品鑑賞(図画工作) 等

目指す姿：伝え合うって楽しいね!

第2班 テーマ：自信をもって表現する

幼児期・年長後半
(学びの芽生え)
入学
一年生・入学当初
(自覚的な学び)

子どもの姿

興味・関心を持つ

様々な体験

様々な表現の仕方を知る

実際に表現してみる

表現したことを共感し合う

相手に伝える楽しさを知る

【保育者・教師が大切にすること】

【大切な経験や活動】

- ・幼児との会話や活動の中で、疑問や興味関心を見つける。
- ・日々の活動の中で、園児の興味関心のあることを見つける。
- ・見つけたことを、保育に取り入れながら、様々な活動を行っていく。(室内遊び、戸外遊び、製作等)
- ・知っていることや調べたことを保育者や友達に話し、伝える楽しさを味わえるようにする。また、味わえる環境を整えていく。
- ・イメージしたことを言葉や絵、製作、踊り、様々な事で表現してみる。→想像通りorイメージが違う。(どうしたら良いか一緒に考える)
- ・自分が納得できる表現を見つける。
- ・様々な活動の中で、園児が頑張っていることやできたことに共感し、自信につなげていく。



- ・子どもをよく観察したり話を聞いたりする中で、努力やがんばりを認め、成長と一緒に喜ぶ。
- ・児童一人一人の個性を認め、力を発揮できそうな場面で発表する機会を意図的に設け、自信をつけさせる。周囲のみんなにも、認めてもらう言葉かけをもらう。
- ・色々な表現方法の仕方を提示する。(話すときの型、ハンドサインなど→賛成のときは1、付けたしは2など)
- ・授業中に机間指導をする中で、自分の考えが書けていたら赤ペンを入れ、認めることで自信を持って発表できるようにする。
- ・表現することに苦手意識を持っている児童への手立てとしては、個人→ペア→グループ→全体のように少しずつ広げていく。
- ・学習や行事の発表の場面では、友達と協力したり、一緒に練習していく中で、表現することの楽しさや達成感を味わえるよう支援する。



- ・製作
- ・手遊び・歌遊び
- ・マーチング練習
- ・絵本・紙芝居
- ・運動会
- ・秋まつり
- ・お遊戯会
- ・マーチング発表会
- ・リズムあそび
- ・1年生との交流
(学校探検、生き物ランド)
- ・当番活動
- ・町探検
- ・年長さんを迎える会
- ・できるようになったこと発表会
- ・自分の思いを書いたり、話したりする力を授業で身に付ける。

目指す姿：思ったこと、考えたことが伝わるってうれしいな。

第3班 テーマ：自分で考え判断する

幼児期・年長後半
入学
一年生・入学当初

(学びの芽生え)

(自覚的な学び)

子どもの姿

いろいろな体験

これでいいのかな？
(試行錯誤)

友達の考えも聞いてみよう

みんなでやってみよう

一人でやってみよう

うまくできたよ

【保育者・教師が大切にすること】

【大切な経験や活動】

- ・すぐに答えを言わず、考える時間を与える。(待つ)
- ・問い掛ける。
- ・他人を思いやる、困っている人がいたら助ける。どうしたら相手が喜んでくれるか自分で考え行動に移す。
- ・自分の考えや気持ちを言葉に出す。「どう思うの？」→「こういう考え」人の意見に耳を傾ける。
- ・失敗の経験をさせる。



- ・活動や直接体験することを大切にする。
- ・子どもの「やりたい」気持ちを大切にする。
- ・友達や教師から認められたり、成功体験を積み重ねたりすることで、自己肯定感を高められるようにする。
- ・ペアやグループ活動を取り入れ、子ども同士で話し合い、決定する場を設ける。
- ・うまくいかないときはどうすればよいか考えられるようにする。気持ちを受け止める。



- ・自由遊び
- ・飼育活動
- ・栽培活動
- ・制作
- ・自然との触れ合い
- ・昔遊び
- ・お手伝い
- ・当番活動
- ・係活動
- ・清掃
- ・年下の子のお世話
- ・交流会
- ・学習発表会
- ・運動会
- ・遠足
- ・学校探検
- ・話し合い活動
- ・友達との関わり
- (成功や失敗)

目指す姿：自信をもってできるよ！

第4班 テーマ：自信をもって表現する

【保育者・教師が大切にすること】 【大切な経験や活動】

子どもの姿

やってみたい
…でも不安

みんなとやってみたら
楽しいな

みんなと一緒になら!

こんな伝え方も
あるんだね

伝えるって楽しい
伝わるってうれしい

一人でも!

- ・仲間意識が高まる中で、一人一人の思いや葛藤に心を寄せ、受け入れられているという安心感がもてるようにする。
- ・一人一人の成長を認め、満足感や達成感を味わえるようにする。
- ・集団活動やグループ遊びの機会を多く持ち、その中で一人一人の力が十分発揮できる言葉かけや援助をする。
- ・一人一人の発想を大切にしながら友達同士お互いに認め合いながら工夫して遊びが発展する言葉かけをする。
- ・努力する姿を認めたり、励ましたりし、活動への意欲を高めると共に、一人一人の自信につなげる。

- ・保育園、幼稚園等における、保育者と児童のこれまでの関わりや児童の実態を把握し、小学校での支援に生かす。
- ・これまで経験を重ねて身に付けてきた表現力や表現方法を認めながら、教科の特性を生かして様々な表現方法を楽しみながら、知っていけるようにする。
- ・友達の表現に触れる機会を多くし、様々な表現方法があることに気付かせる。また、友達から自分の表現に対して、返事やコメントをもらうことで、伝わる喜びや伝える楽しさを味わわせる場を定期的に設定する。
- ・自分の思いや考えを表現しやすい、あたたかい雰囲気の中で学級づくりをする。
- ・発表する対象を少しずつ大きなものにしていくことで、発表に対する抵抗を軽減する。
- ・試行錯誤を繰り返しながら、成功体験を積み重ねていくことで、自信につなげる。



- ・当番活動
- ・農業体験
 - 描画、製作
 - 感想発表
- ・運動会
 - カラーガード、係
- ・発表会
 - ダンス、劇等
- ・音読発表
- ・あさがお栽培
- ・観察・みつけたよカード
- ・学校探検
- ・今日がんばったこと発表(帰りの会)
- ・行事で五・七・五
- ・ペアグループ→全体の伝え合い活動
- ・2年生との交流
- ・きりりん作文

目指す姿：ぼく・わたしの思い、見て！聞いて！

幼児期・年長後半
（学びの芽生え）
入学
（自覚的な学び）
一年生・入学当初

第5班 テーマ：自分で考え判断する

幼児期・年長後半
(学びの芽生え)
↓
入学
(自覚的な学び)
↓
一年生・入学当初

子どもの姿

豊かな遊びの
体験

もっとたのしく
したいから
工夫してみよう

できたこと
を喜ぶ

小学校も
たのしい!

なにをしよう
どうやろう

挑戦してみ
よう!

【保育者・教師が大切にすること】 【大切な経験や活動】

- ・生活の中で様々なものに触れ、その性質や仕組みに関心が持てるようにする。
- ・子どものやってみようという気持ちを大切にすること。
- ・遊びの中で自分の思いを伝えたり、友達の意見を聞いたりできる雰囲気作りをし、自分なりに考えて活動できるようにする。
- ・試行錯誤しながら工夫して取り組むことで、新しい事を生み出す楽しさを味わえるようにする。
- ・ひとりで難しい場合には、保育者や友達と一緒に考えたり、協力したりし、もう一度挑戦できる環境を作っていく。
- ・できた時には大いに褒め、成功する体験を通して、「またやってみよう」という意欲へとつなげていく



- ・あいさつ
- ・読み聞かせ
- ・戸外活動
- ・室内活動
- ・ごっこ遊び
- ・思いがぶつかり合い、けんか
- ・異年齢児との交流 (たてわり保育)
- ・当番活動
- ・自由製作活動
- ・話し合い
- ・係活動
- ・日直
- ・給食当番
- ・グループ学習、ペア学習
- ・アサガオの世話
- ・遠足

目指す姿：やってみよう！きっとできる！

第6班 テーマ：安心して気持ちや思いを伝えあう

幼児期・年長後半
（学びの芽生え）
入学
（自覚的な学び）
一年生・入学当初

子どもの姿

様々な豊かな体験から

体験から生まれたあふれる思い
「みつけた!」「発見!」

自分の気持ちをきいてほしい
「聴いてほしいな!」
「知ってほしいな!」

いろいろな表現の仕方を
知る「そういう伝え方があるんだー!」

思いや考えを伝えあう
「伝えるってたのしい!」
「聴いてくれてうれしいな!」

「いろいろな考えがあるって、おもしろいんだなあ!」



【保育者・教師が大切にすること】

- ・日常生活の中で、いろいろな言葉に触れたり、絵本や物語に親しんだりすることで、語彙を増やしていくようにする。
- ・保育士や友だちと心を通わせる関わりを大切に、「自分のことを伝えたい」、「相手のことを知りたい」という思いを引き出す。
- ・遊びの中で、保育士や友だちとの「会話」を楽しみ、自分の体験等を相手に伝えることができる環境をつくる。
- ・子どもの思いを聞き、言葉で言い換える。
- ・自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わわせる。
- ・伝えあう喜びを味わえる環境を設定する。



- ・安心して自分の思いを伝えられる集団づくりをおこなう。（まちがえてもいいんだよ）
- ・体験や学習を通して、感じたことや思ったことを絵や、言葉、文字で表現する時間を授業時間の中で横断的に設け、思いを表現する力を養っていく。
- ・意見や考えの交流の場を意図的に多く設けていく。（自分と同じ考えの発見、自分とちがう考えの発見）
- ・教師が、児童の思いや考えをつなぐ。
- ・友だちとつながるきっかけをつくる。
- ・思いを伝えあう活動後、「やってよかった」「次も話したいな聞きたいな」という達成感を感じさせ、喜びを実感させるとともに次への意欲へとつなげる。

【大切な経験や活動】



- ・あいさつ
- ・歌
- ・集会
- ・絵本の読み聞かせ
- ・自由あそび
- ・ごっこあそび
- ・けんか、なかなかおり
- ・季節のイベント
- ・言葉あそび
- ・言葉あつめ
- ・好きなもの発表
- ・係活動
- ・学級活動
- ・エンカウンター
- ・ロールプレイング
- ・ペアやグループでの話し合い
- ・道徳活動
- ・秋まつりの計画運営
- ・各教科の学習

目指す姿：いろいろな考えがあるっておもしろいね!

第7班 テーマ：自信をもって表現する。

幼児期・年長後半
入学
一年生・入学当初

(学びの芽生え)

(自覚的な学び)

子どもの姿

愛情と信頼

絵本や物語に
親しむ
言葉で伝え
たい

伝え方を
知りたい

伝える方法
が分かる。

自分の思い
が伝わる。

【保育者・教師が大切にすること】

【大切な経験や活動】

- ・愛情をもって接し、一人ひとりが安心して生活できるように関わりを大切にする。
- ・温かく見守る。
- ・遊びの中で子どもたちと共感する。
- ・自信がもてるよう、たくさん褒める。
- ・生活の中で必要な挨拶をする。
- ・絵本や紙芝居は、情景がイメージできるよう感情豊かに読む。
- ・様々な場面での対話を大切にする。
- ・相談して役割を決めたり、子ども同士での話し合いは見守り、必要に応じて助言していく。



- ・共遊や意識的な声掛けを行い、学校生活に安心感をもたせる。
- ・朝の会、帰りの会の司会やスピーチをサポートし、繰り返すことで自信を深めさせる。
- ・話し方の基本を押さえ、できたことを褒めながら発表の仕方や、話し合いの仕方を身に付けさせていく。
- ・ペアでの話し合いを多く取り入れ、友達と話すことの楽しさを知り、話したいという気持ちができるような関わりを心掛ける。
- ・読書（読み聞かせ）や、MIM（多層指導モデル）言葉集めなどを行うことで、語彙数を増やしたり、言語感覚を高めたりする指導を心掛ける。
- ・自分の考えを書いてから発表することで安心して発表できるようにすると共に発表できたという自信をもたせる。

- ・手遊び
- ・ままごと遊び
- ・ごっこ遊び
- ・見立て遊び
- ・おにごっこ
- ・砂遊び
- ・リトミック
- ・当番活動、お手伝い
- ・絵本や紙芝居の読み聞かせ
- ・パネルシアター
- ・エプロンシアター
- ・劇遊び
- ・しりとり遊び
- ・質問遊び
- ・朝の会、帰りの会
- ・国語科
- 「なんていおうかな」
- ・生活科
- 「がっこうたんけん」
- ・ペア、グループ学習
- ・一年生を迎える会
- ・MIM
- ・ことば集め
- ・朝の読書
- ・カリブや職員による読み聞かせ

目指す姿：自分の思いが伝わるって、嬉しいな

第8班 テーマ：思いや考えを伝え合う

幼児期・年長後半
(学びの芽生え)
↓
入学
(自覚的な学び)
↓
一年生・入学当初

子どもの姿

自分の思いを話したい

友達と思いを共有したい

友達のことを知りたい

知りたいことを聞いてみる

伝え合うことを楽しむ

もっと分かりやすく話したい

【保育者・教師が大切にすること】 【大切な経験や活動】

- ・様々な活動や行事を通して経験するあらゆる感情に寄り添い、共感していく。
- ・生活の中で、感じたことや経験したことを自分から話したいと思えるような温かい雰囲気作りをしていく。
- ・子どもの言葉にじっくり耳を傾け、聞いてもらえる喜びを味わえるようにする。
- ・集団あそび、グループ活動などを取り入れ、友達と嬉しさや楽しさ、達成感を分かち合えるよう援助する。
- ・友達との関わりの中で、共通点や違いに気づき、相手に興味をもつ。その中で、相手の話を聞く姿勢を身に付けられるようにしていく。



- ・関心をもって聞き合う場の設定を行い、友達とのやりとりを楽しませる。
- ・相手の発言を受けて話をつなぐことができるよう、尋ねたり応答したりする活動の場を設定する。
- ・伝えたい内容を分かりやすく話したり、話をよく聞いて質問したりできるようにさせる。
- ・うまく言葉で伝え合うことができない場合には、教師がよいモデルを示すようにする。(子供同士の話をつなぐ役目、モデル)
- ・自分の考えや思いを言葉にして伝えられるように、語彙力や表現力を高める指導を行う。
- ・日頃から、安心して伝え合える人間関係を築けるよう配慮する。



- ・あいさつ
- ・グループ活動
- ・集団あそび
- ・運動会
- ・発表会
- ・当番活動
- ・インタビュー
- ・友達とのけんか
- ・自由な会話
- ・自己紹介
- ・朝のスピーチ
- ・学校探検
- ・ペア、グループ活動
- ・読書活動
- ・国語の学習
- ・休み時間の共遊
- ・学習活動
- ・係活動

目指す姿：分かりやすく話せたよ！もっと聞きたいな！

第9班 テーマ：友だちと協力して生活する

子どもの姿

【保育者・教師が大切にすること】

【大切な経験や活動】

どうしようかな？

ともだちといっしょに
できるかな？

できた
たのしかった

あたらしい
ともだち
できるかな？

はなしてみよう
いっしょにやってみよう

おともだちとやると
うまくいくな
たのしいな

- ・一人一人の思いを理解する。
- ・友だちと関わる場を設定する。
- ・友だちと関わる機会を増やしていく。
- ・遊びや当番活動の中で、共通の目的をもち、助け合いながら過ごせるようにする。
- ・自分たちで考えを出し合い工夫しながら活動し、協力する楽しさや満足感や達成感を味わえるようにする。



- ・保育者と児童のこれまでの関わりの様子を知り、小学校での支援の方策を探る。
- ・オリエンテーション期間に学級の児童の触れ合いの機会を設定する。
- ・休み時間、昼休みの遊びの様子を見守り、人間関係を調整する。
- ・学習活動の中のペア、グループ、一斉指導で、コミュニケーション能力を高めていく。
- ・友だちとの交流の楽しさを実感できる経験を重ねていく。
- ・学習や経験を活かし、友だちと話し合っって主体的に新入生のお迎えの準備ができるように支援し、達成感をもたせる。



- ・日常の遊び
- ・当番活動
- ・制作活動
- ・年中のお世話
- ・1年生との交流会
- ・運動会
- ・幼児組との合同保育
- ・発表会
- ・オリエンテーション
- ・生活科 (学校探検)
- ・生活科 (公園探検)
- ・国語(よろしくね) (ひとつつながることば)
- ・各教科指導
- ・運動会
- ・遠足
- ・学習発表会
- ・新入生お迎え準備

目指す姿：友だちと一緒にやるのは楽しいな。

幼児期・年長後半
(学びの芽生え)
入学
一年生・入学当初
(自覚的な学び)

第10班 テーマ：友達と協力して生活する

幼児期・年長後半
 (学びの芽生え)
 ↓
 入学
 ↓
 一年生・入学当初
 (自覚的な学び)

子どもの姿

誰と遊ぼうかなあ～

友達と一緒に
 同じことをして
 遊ぶって楽しい

友達への意識

自己信頼
 他者信頼

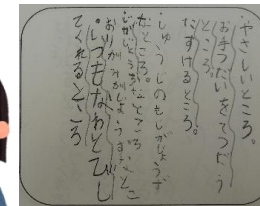
グループで
 助け合う

お互いの
 よさを知る
 自己肯定感
 を高める

【保育者・教師が大切にすること】

【大切な経験や活動】

- ・一人一人興味のある遊びを把握し、その子が得意とすることを知る。
- ・自然と友達とも関りが体験できるように、遊びに誘う。
- ・一緒に遊ぶ中で、友達との関りが深まり、気の合う友達を見つけ、声を掛け合って遊ぶ姿を見守る。
- ・遊びを通して、相手にも思いがあることを知り、受け入れてもらったり、受け入れたりする経験を重ねていく。
- ・何かに困っていたら声を掛けたり、援助してもらったりすることで、自分も周りの友達や異年齢児を気にかけて、思いやりの心を養い、自ら考えて行動できるようにする。



- ・友達と一緒に遊ぶ
- ・戸外あそび
 砂場、三輪車
 サッカー、ドッチボール、
 鬼ごっこ
- ・室内あそび
 ブロック、ドミノ
 おままごと
- ・ごっこあそび
- ・園行事
- ・当番活動
- ・経験発表
- ・音読劇(国語)
- ・生活科 観察
- ・係活動
- ・当番活動
- ・道徳科
- ・運動会
- ・文化祭
- ・帰りの会 等



- ・新しく出会った友達と様々な活動を共に行うことで、他者への意識をもたせる。
- ・グループ活動の際に、これまでに培ってきた力を大切にさせながら多くの成功体験を積み重ねる。(グループ内での話合いの時間を多く設ける)
- ・生活だけでなく学習でも友達と協力して課題を解決していくような活動を取り入れ、互いのよさを認め合えるようにする。
- ・友達同士でよいところを伝え合う活動を行い、自己肯定感を高める。

目指す姿：友達との関わりって楽しいね

第12班 テーマ：思いや考えを伝え合う

幼児期・年長後半
入学
一年生・入学当初

(学びの芽生え)

(自覚的な学び)

子どもの姿

言葉に親しむ

自分の思いを話したい

伝わる喜び

友達の話を聞きたいな

伝え合う楽しさに気付く

話したい書きたいして
伝え合いを楽しむ

【保育者・教師が大切にすること】

【大切な経験や活動】

- ・絵本や紙芝居の読み聞かせや音読をし、言葉に親しみをもつ。語彙を増やすと共に様々な表現方法を知ったり、想像力を高めたりする。
- ・歌の響きやリズム、豊かな言葉や表現に触れたりまねたりして、音の楽しさを味わっていく。
- ・子ども同士の声を受け止め共感し、言葉で表現する楽しさや伝わる喜びを感じられるようにする。また、聞いてもらえるという経験を積みの中で、自己肯定感を高め、自分の言動に自信をもって伝えていける。
- ・やりたいという個の心の揺れ動きを大切に活動を通して、お互いが理解するようになり、必要な言葉の意味を知っていく。
- ・遊びの中で、共有、共感、共体験したことなどを振り返り、伝えることの楽しさや言葉で表現する楽しさに気付いていく。



- ・新しい環境に慣れるように、一人一人に声を掛けたり、話に耳を傾けたりすることで、「何でも話ができる」という安心感をもたせる。
- ・相手の話を聞くことの大切さを伝え、話しやすいクラス的环境をつくる。
- ・教師が言葉遣いや話し方のよいモデルとなり、児童が視覚的に分かりやすいように示す。
- ・友達のスピーチを聞いたり、ペアやグループで話したりするなどの言葉のやりとりする活動の場を意図的に設定する。活動を通して、思いを伝えることの楽しさを味わわせる。
- ・話す、文章を書く、絵を描くなど、様々な伝え方を経験させ、自信をもって思いや考えを伝えられるよう支援する。



- ・挨拶、返事
- ・対話(人の話を聞く、自分の考えを伝える)
- ・歌
- ・主体的活動
- ・振り返り(諸活動等)
- ・異年齢交流
- ・絵本作り
- ・集団遊び
- ・自己紹介
- ・スピーチ
- ・ペア学習
- ・グループでの話し合い
- ・音読(音読発表会)
- ・読書
- ・係活動
- ・クラス遊び
- ・学校探検
- ・縦割り班活動
(異学年交流)

目指す姿：どんなときでも思いを伝えられるよ

第13班 テーマ：自分で考え、判断する。

幼児期・年長後半
（学びの芽生え）
↓
入学
一年生・入学当初
（自覚的な学び）

子どもの姿

やってみたいな
どうしてかな

しらべてみよう

ためしてみよう

どうしたら
いいかな

やってみよう

うまくできたよ

【保育者・教師が大切にすること】

【大切な経験や活動】

- ・自分のやりたいことを見付け、発見を楽しみながら経験できる環境作りをすること。
- ・身近な環境に触れることで、不思議さ等に気付いたり、調べたり、考えたりして、多くを学べるようにすること。
- ・自分の考えや想いを伝え合い、話し合うことができるようにすること。
- ・子どもの「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」のどの部分が育っているのかを照らし合わせながら考えていくこと。



- ・目的意識や相手意識をもたせる課題を設定し、主体的な活動を促すこと。
- ・子どもの考えを認め、励ます言葉掛けをすること。
- ・今までの体験・既習内容を生かして考え、活動につなげるようにすること。
- ・自分と友達の意見を比較することで共通点や相違点に気付き、新しい考えをもてるようにすること。
- ・子どもの考えをつなげたり広めたりすること。
- ・失敗を恐れず、試行錯誤ができる言葉掛けをすること。
- ・できるようになったことや成長した自分に気付かせ、成功体験を積ませること。



- ・色水遊び(光遊び)
- ・収穫体験
(お米・さつまいも)
- ・調理体験
(梅・しそジュース作り、カレー作り)
- ・行事
(運動会、発表会、お店屋さんごっこ)
- ・チャレンジ活動
(こま回し・けん玉)
- ・アサガオの栽培活動
- ・学校探検
- ・係活動
- ・当番活動
- ・清掃
- ・クラス遊び
- ・ペア学習
- ・グループ活動
- ・話し合い活動

目指す姿：やってみよう！できたよ！みつけたよ！もっとやってみたいな！

第14班 テーマ：自信をもって思いや考えを伝えよう

幼児期・年長後半
入学
一年生・入学当初

(学びの芽生え)
(自覚的な学び)

子どもの姿

先生見て見て！

みんなの前で
名前・好きなもの
が言えたよ

クラスみんなに
話せたよ

入学式
元気に返事が
できたよ

新しい友達に
自己紹介できたよ

隣の人と
相談したら
安心したよ

新しい環境で、
再び行う

【保育者・教師が大切にすること】 【大切な経験や活動】

- ・一人一人の思いや考えを受け止め、安心して過ごせるよう信頼関係を築いていく。
- ・クラス内のゲームの中で楽しく発言できる機会を増やしていく。
- ・様々な意見があることに気付く。

- ・自分の体験を話し、友達や保育者に聞いてもらう嬉しさ、また、拍手をもらい達成感が味わえるようにする。(拍手「〇〇なんだね(先生の解説)」)
- ・友達の意見をきちんと聞くことも大切にしていく。
- ・自分から思いを伝えられない子に対しては、保育者との会話の中で友達に伝える経験を増やしていく。

- ・信頼関係づくり・楽しく発言できる場
- ・多様性(様々な答えがあって良いことに気付く)

- ・同じ質問・発表を繰り返す中で「自分にも言えそう！」と安心して発表できる機会を作る。
- ・間違えても、笑われない、友達が助けてくれることで、安心して発表できる環境づくり。(聞く人の指導が大事)
- ・友達の発表に対して「合っています」「違います」など、言葉で返す習慣を付ける。(「聞いているよ」の合図)



- ・製作
- ・遊びの中でのおしゃべり
- ・当番活動
- ・フルーツバスケット
- ・クラスでしりとり
- ・絵に描いて発表
- ・誕生日でのインタビュー
- ・クラスでの発表

- ・入学式の呼名
- ・毎朝の健康観察
- ・日直当番(号令)

- ・授業での会話
- ・ペアで相談

- ・グループで相談
- ・みんなの前で発表
- ・係活動(話し合い)



最初は先生と一緒に

目指す姿：全体での発表「みんなに聞いてもらうって嬉しいな」

第15班 テーマ：最後までやりとげる

幼児期・年長後半
入学
一年生・入学当初

(学びの芽生え)

(自覚的な学び)

子どもの姿

おもしろそうだな
やってみたいな
やってみよう・おもしろい

<成功>
楽しいな
もっとやって
みたいな

<失敗>
おずかしいな
くやしいな
どうしたらいいかな

できた! やれた! 見て見て!
がんばった! (自信がついた)

とまどうな・・・ときどきするな
やってやるぞ! できるもん!

やってみたいな
できたらうれしいな

やりきると気持ちいいな
がんばれたな

【保育者・教師が大切にすること】

【大切な経験や活動】

- ・子供たちのアイデアから遊びを展開する。
- ・自分で調べる，作る，考えることができるような環境づくり。
- ・成功する経験だけでなく，失敗する経験も大切にしたい。どうしたら成功するか（できるようになるか）を自分なりに考えたり、友達と言葉で伝え合ったりするきっかけを作っていく。
- ・異年齢との交流では，年下の面倒を最後まで見ようとする姿を認めていく。



- ・散歩
(自然物に触れる)
- ・農作物の栽培
- ・運動会
- ・ドッジボール
- ・はっぴょう会
- ・なわとび
- ・こま回し
- ・卒園式



- ・明確なめあてを提示する。
- ・児童一人一人に問題意識をきちんともたせるような声かけをする。
- ・完璧でなくても褒める。(過程を認める)
- ・試行錯誤できるように，活動に選択の幅を持たせる。
- ・失敗を恐れずに取り組める環境(場の設定・クラスの人間関係)をつくる。
- ・成功体験を一つ一つ積み上げられるように活動を工夫したり支援したりする。
- ・成功や成長をお互いに認め合い，喜び合える人間関係を築けるようにする。



- ・各教科の授業
- ・生活科の栽培活動
- ・国語や音楽の授業での発表会
- ・運動会や遠足などの学校行事
- ・学級活動
- ・当番・係活動
- ・清掃活動



目指す姿：あきらめないで、やりきる

第16班 テーマ：考える力を育てる

幼児期・年長後半
 (学びの芽生え)
 ↓
 入学
 (自覚的な学び)
 ↓
 一年生・入学当初

子どもの姿

自分のことが
自分でできる

習慣化(定着)

時間を
意識する

周りを見る

先を
見通す

自ら
行動する

【保育者・教師が大切にすること】

【大切な経験や活動】

- ・自分のことは自分ですという意識をもたせる。
- ・できることを確認し、自分でできるよう環境を整える。
- ・繰り返すことで、習慣化できるようにする。
- ・順序立てをした声掛けをする。
- ・自分で考えるためのヒントを与える。
- ・幼児が失敗したことに対し、どうするべきだったかを一緒に考え、次につなげる。
- ・物事の視点を変えてみる。
- ・自分でできたと思えるような言葉掛け。
- ・できたことを認める。



- ・活動のめあて(ゴール)を明確にし、何をすればよいか分かりやすく提示する。
- ・見通しをもって行動できるよう視覚化する。
- ・失敗を恐れずに、自分の力で解決できるよう一人一人を認め、自信をもたせる。
- ・困った時に、自ら考え行動できるよう促し待つ。
- ・常に、自分の頭で考える訓練をさせる。
- ・自分のことは自分でやるという意識をつけさせる。
- ・自ら考えて選択する場面を増やす。
- ・自分の意思で方向を決めて進み、行動の結果に責任をもたせる。



- ・身支度、排泄
- ・当番活動
- ・手伝い
- ・ごっこ遊び
- ・年下の面倒をみる
- ・他児と協力する遊び (社会性を育てる)
- ・物事を多面的に捉える遊び
- ・遊びや食事後の後片付け
- ・発表会、運動会
- ・読み聞かせ
- ・掃除
- ・給食の準備
- ・学校探検
- ・製作活動
- ・グループ活動
- ・各教科の学習

目指す姿：やってみたい！やってみよう！

第17班 テーマ：自分で考え、行動する

幼児期・年長後半
入学
一年生・入学当初

(学びの芽生え)

(自覚的な学び)

子どもの姿

やってみたい！
でも…できるかな？

チャレンジしてみよう！

次は、こうしよう！
(工夫)

1年生だけ
自分でできるよ！

友達の考えも聞いて
もっとやってみよう！
(積み重ね)

こんなことが
できるようになったよ！

【保育者・教師が大切にすること】

- ・一人一人の思いを大切にしていく。
- ・自分の思いを伝え、受け入れられる経験を積み重ねられるようにする。
- ・友達と一緒に頑張ることの心地よさに気付くようにする。
- ・成功、失敗に関わらず見守り、自分でやれたという体験を増やして自信につなげる。
- ・友達と話し合い、アイデアを出し合ったり、相手の思いを受け止めたりしながら、共通の目的に向かって取り組める環境を作っていく。
- ・子どもの主体性を尊重し、認め、褒めながら関わっていくことで、就学に向けての希望と自信につなげていく。



- ・自分でできることを増やしていけるように、「1年生だからできない」ではなく「1年生だけどできる」をキーワードに、まずは何でも挑戦させるようにする。
- ・生き物の世話を最後まですることを通して、責任感を育てる。
- ・授業参観で「ぼくたち、わたしたち『できるよ』『がんばっているよ』」を保護者に認めてもらうことで自信につなげる。
- ・来年度生に学校生活について教えることを通して、上級生になる意識を育てる。
- ・目標を立てさせ、目標に向かって努力したり、友達と協力したりすることの大切さに気付かせる。



【大切な経験や活動】



- ・運動遊び
- ・散歩
- ・夕涼み会
- ・運動会
- ・大同フェスティバル
- ・そりすべり
- ・交流会
- ・お店屋さんごっこ
- ・修了式
- ・入学式
- ・なかよし班顔合わせ
- ・1年生を迎える会
- ・朝顔の種まき、水やり、観察
- ・運動会
- ・授業参観
- ・校外学習(生活科)
- ・持久走大会
- ・幼保小交流会
- ・命の週間
- ・学習成果発表会
- ・卒業生を送る会

目指す姿：ぼくも わたしも やれば できるよ！

第18班 テーマ：自己肯定感を育てる

幼児期・年長後半
 (学びの芽生え)
 入学
 一年生・入学当初
 (自覚的な学び)

子どもの姿

一番大きくなったよ！
自分でやってみたい

がんばるぞ！でも、
しっばいしたらどうしよう。

じぶんたちでできるよ！
小学校への期待。

1年生になったよ！

いろいろなことに
挑戦！

できるようになった
喜び

【保育者・教師が大切にすること】

【大切な経験や活動】

- ・年長児になったことに喜びを感じているが、不安を感じている子もいるので、気持ちを受け止めながら、安心して様々な活動に取り組めるようにしていく。
- ・当番活動や様々な行動を経験をする中で、自分の役割を把握して、自ら進んで行ったり責任感をもって最後までやり遂げられるようにする。
- ・生活や遊びの中で、保育者や友達に自分の思いや考えを伝えられるよう、話しやすい環境をつくる。
- ・小さな目標を設定し、「できた」と思える経験を重ねていく。結果だけではなく、頑張っている姿や過程も十分に褒め、認めていく。



- ・学校を探検したり、友達との関わりの中で、少しずつ学校生活に慣れさせたりすることで学校生活に自信をもたせていけるようにする。
- ・当番活動や係活動で役割を与え、頑張ってやり遂げようとする気持ちを育てていく。
- ・生活科で一人一鉢のあさがおを育てることで、責任感を育てていく。
- ・学習や生活の場面で、その子なりにできるようになったことや頑張っていることを認め励ましていく。
- ・キャリアパスポートを活用し、行事などの後には、保護者や教員からの励ましのメッセージを伝えていく。
- ・各学校行事に対して、自分自身の目標をもって参加させることで、努力することの大切さや達成できた喜びを味わわせていく。



- ・年長児に進級
- ・がんばりポイントをためる。
- ・当番活動(号令・お手伝い)
- ・野菜の栽培(水やり)
- ・集団遊び
- ・固定遊具や運動用具
- ・小さい子の面倒を見る。
- ・行事に中心となって取組む。
- ・お別れ会(感謝の気持ち)
- ・卒園式(入学への期待)
- ・入学式
- ・学校探検(生活科)
- ・当番活動・係活動・学級会活動
- ・東原スポーツ大会
- ・一人一鉢あさがおを育てる。
- ・グループ学習での学び
(なるほどタイム)
- ・キャリアパスポートの活用
- ・持久走大会
- ・わくわくフェスティバル

目指す姿：こんなことができたよ！

第19班 テーマ：思いや考えを伝え合う

幼児期・年長後半
 (学びの芽生え)
 ↓
 入学
 (自覚的な学び)
 ↓
 一年生・入学当初

子どもの姿

自己発信

友達の思いに
気付く

相手の考えに
耳を傾ける

テーマに沿った
自分の考えを話す

理由を付けて
話す

友達の意見を
受け止め
共感する

【保育者・教師が大切にすること】

【大切な経験や活動】

- ・日々の生活や遊びを通して、クラスの友達や保育者との信頼関係を深めていく。
- ・思いを伝える場面作りをし、時に代弁するなどしてみんなに発信していく。
- ・周りの友達の思いや考えをクラスみんなで共有し、それについてどう思うか話し合いを設ける。（「それ、いい考えだね！」など）
- ・活動の中で様々な思いや考えがあることを気付けるようにする。
- ・話し合いや発言の機会を多く作り、繰り返し経験を増やしていく。
- ・それぞれの思いを伝え合った上で、クラスとしての目標をまとめられるよう促す。



- ・授業が始まったら、発表の仕方（質問に対する答え方）を指導し、授業中に発表する機会を多く設ける。
- ・帰りの会で、日直が一日を振り返り、自分でできてよかったことや友達にしてもらってよかったことなどを発表させる。
- ・国語科の「わけをはなそう」を学んだら、様々な場面で理由を付けて書いたり、話したりさせる。
- ・授業中、隣の席の友達と意見の伝え合いの時間を設け、相手に伝える力を養う。
- ・学級活動の授業で、グループでの話し合い活動を行い、友達の意見を聞いてまとめる力を育てる。
- ・休み時間に複数人で遊ぶときには、話し合って遊びやルールを決めるよう話す。トラブルが起こり、子どもたちで解決できない場合には、担任が入り、解決策を導く。



- ・好きな遊びを見付け遊び込む
- ・おもちゃの貸し借り
- ・「かして、いいよ」
- ・ルール遊び
- ・グループ活動
- ・行事を通した経験（運動会、発表会など）
- ・共同制作

- ・授業中の発表
- ・帰りの会での「よかったこと」
- ・国語科「わけをはなそう」
- ・ペア学習
- ・学活での話し合い活動
- ・休み時間の共遊

目指す姿：ぼく・わたしはこう思うんだけど、○○ちゃんはどう思う？

第20班 テーマ：主体性～やってみよう！～

幼児期・年長後半
 入学
 一年生・入学当初

(学びの芽生え)

(自覚的な学び)

子どもの姿

できるかな～

いっぱいしたら
どうしよう…

きっとできるよ!

やってみよう!

がんばったら
できた!

やってみるって
楽しい!

【保育者・教師が大切にすること】 【大切な経験や活動】

- ・一人一人の思いを受け止め、信頼関係を築く。
- ・安心感をもって過ごせるように一人一人の話を丁寧に聞いたり、良いところを認めたりしていく。また、活躍できる場を作ったり、環境を整えたりする。
- ・友達の姿や言葉が刺激となり、意欲へ繋がるようにする。
- ・失敗する経験をしながらも仲間と励まし合ったり、認め合ったりすることで大らかに受け止めて挑戦する気持ちを育んでいく。
- ・遊びの中から友達との関わりを深めたり、一つの目標に向かって協力する経験からやり遂げた満足感を味わう。また、仲間意識、絆を深め、自信へ繋げていく。
- ・「難しい」と感じることに「やってみたらできた」「失敗してもいんだ」という経験から「やってみよう」という気持ちをもてるようにする。これまでにつけた自信から自分で考えて行動したり、生活したりすることができるようにしていく。



これまでの成長について継続した支援が行えるよう、幼小間の連携を密にする。

- ・一人一人の実態を把握する。
- ・子供たちの実態に合った課題を与え、自信をつける。
- ・がんばる姿や挑戦する姿を認めて、できた喜びや満足感を友達や先生と共有することで自信に繋げる。
- ・がんばったらできた!という自信や達成感から色々なことに挑戦することができるよう、成功体験を積みせる。



- ・おにごっこ
- ・当番活動
- ・野菜栽培
- ・夏祭りごっこ(お化け屋敷作り)
- ・運動会
- ・リズム遊び
- ・発表会
- ・マラソンカード
- ・個人発表
- ・なわとびカード
- ・学校探検
- ・日直・係活動・掃除
- ・1年生を迎える会
- ・アサガオの栽培・観察カード
- ・水泳遊び
- ・運動会
- ・クリスマス会(学級)
- ・アサガオの種の準備
- ・みんなの前で発表

等

目指す姿： いろいろなことにチャレンジしよう!